



**問** 駅東口の三菱原燃の社員住宅の跡地利用は  
**答** (株)山新が取得し、ホームセンターを建設する

新政会 舛井 文夫 議員

**議員** 駅東口イオンに隣接する三菱原子燃料株式会社の職員住宅用地はどうなっているのか。

**村長公室長** イオン東海店に隣接する三菱原子燃料株式会社の旧社員住宅地は、本年3月30日付けで株式会社山新が取得し、ホームセンターを建設予定とのことである。これまでの経緯は、昨年6月に三菱原子燃料側から、当地の売却を進める旨の話があり、村のまちづくりへの寄与を念頭に売却先を検討している話があった。その後いくつかが、取得したい旨の話があったが、村のまちづくりに寄与できる売却先の選定には苦慮したと伺っている。最終的には、売却先が株式会社山新に決定し、3月30日に売買が成立している。取得について、山新から事前の相談はな

かったが国土利用計画に基づく届出が出されている。なお建築確認申請に必要な都市計画法に基づく地区計画に関する村への届出等については、現時点においては、まだ提出されていない。

解体中の三菱原燃の社員住宅



解体中の三菱原燃の社員住宅



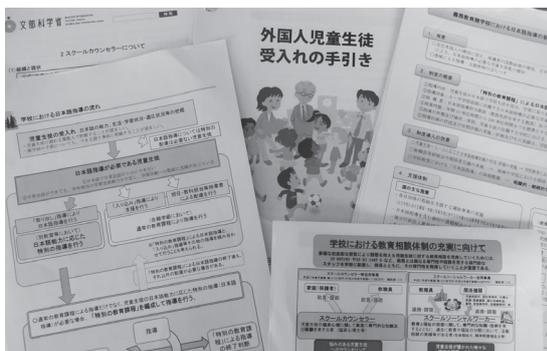
**問** 外国にルーツを持つ児童の日本語指導体制は  
**答** 学校だけではなく生活全体の支援体制を研究

新和とうかい 武部 慎一 議員

**議員** 村では、多くの企業で日本語教室が開かれ、大人は支援がされている。家族で来村した児童は既存の小中学校に在籍し、期間によらず楽しく友と学び友と遊ぶ。このような生活ができる日本語の基本的な指導が必要である。これらを一手に担っている日本語指導ボランティアに対し何らかの支援体制が必要ではないか。

**教育長** 今年は週に2回日本語指導ボランティアを派遣し、関係者、保護者等が集まり、共通理解を持って進めている。また、外国語指導講師と一緒に給食を取るなどの支援を実施。今後増加する可能性を見越して、関係者の連携を図り、児童生徒の支援を支える体制づくりを進める。

**村長** 国際化が叫ばれてはいるが、



文部科学省：「チームとしての学校・職員のあり方に関する作業部会」関連資料、「外国人児童生徒受入れの手引き」、「学校における日本語指導の流れ」等（文科省HPより引用）